

ロシア（極東）

2004年上半期ロシア極東の経済状況

極東連邦管区全体の鉱工業生産高（前年同期比）は、ロシア連邦全体平均の7.6%を下回り4.9%に止まり、サハ共和国のみが15.2%と高い成長率を見せている。他方、2004年上半期の固定資本投資については、極東連邦管区の方がロシア連邦全体平均を約3倍近く上回っているが、特にサハ共和国のエネルギー部門への投資額が急増している。インフレ状況については、ハバロフスク地方、アムール州及びチュコト自治管区を除けば、他の連邦構成主体では連邦全体平均を下回った。

2003年ロシア極東の対外貿易状況¹

ロシア国家関税委員会の統計によれば、2003年のロシア対外貿易総額は1,907億ドルで、前年比24.7%増加した。この内、輸出が1,337億ドル、輸入が574億ドルを占めた。対外貿易の8割強はCIS諸国以外の国々が占めている。総貿易高（輸出＋輸入）で上位の国々（CIS諸国を除く）は、第1位ドイツ（185億ドル、前年比26.4%増）第2位中国（115億ドル、同%25.0%増）第3位イタリア（109億ドル、同12.9%増）第4位オランダ（99億ドル、同15.5%増）第5位米国（72億ドル、同2.8%増）であった。日本は第14位で43億ドル（前年比54.3%増）であったが、輸出は同34.2%増、輸入は同91.4%増を記録した。

2003年、極東ザバイカル地域の対外総貿易高は、77億4,300万ドル（前年比13.2%増）であった。そのうち輸出が56億400万ドル（前年比7.3%増）、輸入が21億3,900万ドル（同32.2%増）を占めた。総貿易高全体に占める連邦構成主体別の割合は、ハバロフスク地方26%、沿海地方25%、サハ共和国18%、サハリン州16%であった。また相手国の割合をみると、中国27.7%、日本17.6%、韓国12.4%、米国6.2%の順であった。

輸出において各部門が占める割合は、燃料エネルギー部門（2002年24% 2003年36%）、木材・木材加工部門（11% 15%）、漁業・水産加工部門（6% 11%）、金属・金属加工部門（5% 9%）、機械・設備部門（11% 5%）、その他（43% 24%）であった。

原油及び石油製品の輸出は、合計14億2,820万ドルで40%（対2002年比）増加したが、その内訳は原油の輸出高

が5億5,190万ドル（同6%増）、石油製品の輸出高が8億7,630万ドル（同1.6倍増）であった。

木材・木材加工部門については、6億5,500万ドルで10.5%増（対2002年比）であった。アムール州、チタ州、ハバロフスク地方、沿海地方からの輸出量が増加する一方、輸出量が減少したのは、域内需要が増加したサハリン州、ならびに中国の木材市場との競争や山火事の大きな影響を受けたブリヤート共和国であった。

漁業・水産加工部門の輸出高は、3億990万ドルで3%増（対2002年比）であったが、その内訳はハバロフスク地方39%、カムチャツカ州11%、サハリン州20%であった。

機械・設備部門の輸出高は、5,050万ドルと前年度からおおよそ半減したが、最大の理由はハバロフスク地方の「コムソモリスク・ナ・アムール航空生産合同」（極東最大の軍需拠点）からの輸出量の減少であった。

2003年の極東ザバイカル地域の輸入高については、機械製品部門が7億9,100万ドル（前年比1.6倍増）、食品部門が2,270万ドル、繊維部門が1億1,650万ドル（同1.9倍減）、化学製品部門が2億2,430万ドル（同1.3倍増）であった。輸入において各部門が占める割合は、機械製品部門37%、食品部門11%、繊維部門5%、化学製品部門11%、その他36%であった。

2003年ロシア極東への外国投資状況

2003年、ロシアに対して行われた外国投資総額は296億ドルのうち、約28億ドル（直接投資は約21億ドルで前年比2.3倍）又は9.5%（2002年には5%）が極東ザバイカル地域に向けられたものであった。対極東外国投資総額のうち各部門が占める割合は、燃料産業部門72%（前年64%）、鉱業部門（19%）、食品工業部門（2%）、木材・木材加工部門（1%）、その他6%であった。

外国投資総額を連邦構成主体別にみると、サハリン州74%、サハ共和国20%、カムチャツカ州2%、沿海地方2%、ハバロフスク地方1%、その他1%である。他方、投資先については、第1位日本（29%、前年22%）、第2位オランダ（20%）、第3位英国（16%、前年10%）、第4位米国（2%、同4%）、第5位韓国（0.5%、同3%）、第6位中国（0.4%、同1%）の順であった。

（ERINA調査研究部研究員 伊藤庄一）

	鉱工業生産 (%)			固定資本投資 (%)			小売売上高 (%)			消費者物価 (%)			平均実質賃金 (%)		
	2002年	2003年	2004.1Q	2002年	2003年	2004.1Q	2002年	2003年	2004.1Q	2002年	2003年	2004.1Q	2002年	2003年	2004.1Q
ロシア連邦	3.7	7.0	7.6	2.6	12.5	13.1	9.1	8.0	10.3	15.1	12.0	3.5	16.2	10.3	15.0
極東連邦管区	0.9	4.7	4.9	8.4	37.3	38.9	13.4	10.6	7.9	15.2	12.8	3.5	19.1	12.1	13.6
サハ共和国	1.7	1.6	15.2	5.0	2.4	22.0	22.8	25.1	5.0	12.1	11.8	3.1	18.7	5.6	8.0
沿海地方	1.2	6.1	2.7	9.5	2.9	7.3	14.3	9.7	11.5	13.6	12.8	2.6	18.5	16.5	9.1
ハバロフスク地方	6.0	7.2	1.4	19.0	6.0	1.9	11.5	5.1	9.0	17.6	15.3	4.9	20.3	12.6	11.4
アムール州	0.2	6.8	5.3	23.8	11.9	39.4	3.8	4.7	15.0	12.4	15.5	5.2	24.2	11.9	10.4
カムチャツカ州	16.0	3.4	13.7	14.8	66.0	2.1	2.0	3.8	0.1	14.1	10.2	2.9	12.8	13.1	19.7
マガダン州	6.9	10.1	4.7	1.6	22.9	20.5	7.2	11.2	5.9	12.3	11.9	2.9	13.7	11.6	21.6
サハリン州	12.5	3.4	5.7	31.8	2.2倍	2.5倍	18.3	10.7	4.3	17.6	11.8	2.6	11.8	15.0	17.7
ユダヤ自治州	11.0	7.0	3.2	54.2	52.5	2.3倍	18.0	3.9	2.4	19.9	14.5	3.8	28.1	10.0	12.0
チュコト自治管区	20.5	17.7	0.9	2.8倍	76.0	54.1	19.3	3.3	9.5	32.7	17.0	6.5	18.5	11.2	1.7

（出所）『ロシア連邦管区の社会経済状況』（ロシア国家統計委員会、2002年版・2003年・2004年第1四半期版）

『極東連邦管区地域の社会経済状況の基本指標』（ロシア国家統計委員会ハバロフスク支部、2003年1～12月版）

（注）消費者物価は前年12月比、その他は前年同期比、カムチャツカ州はコリヤク自治管区を含む、平均実質賃金の2002年については暫定値のまま

¹ 以下の対外貿易・外国投資データは、極東ザバイカル協会作成資料（<http://www.assoc.fareast.ru/fe.nsf/pages/htm>）を基礎に、ロシア国家統計委員会やロシア国家関税委員会の資料等を用いて、筆者が適宜加筆・修正したものである。尚、極東ザバイカル地域には、極東連邦管区のほかにチタ州とブリヤート共和国が含まれる。